

どのチョコ受け取る?



CONTENTS
バレンタイン企画!
調理科女子の“本気でチョコ作ってみた”
トーク
延学ぶっちゃけ話 ~今だから話せる卒業生バナシ~

しおつき あかり
COVER 塩月 明莉

ひらしま のの
COVER 平嶋 希望

おばま
COVER 小瀨 ユキナ

Valentine's Day 2022!



バレンタイン企画! 調理科女子の“本気でチョコ作ってみた”

浮かれている君にも、ソワソワしてる君にも、関係ないと開き直ってる君にも、この季節がやってきました! そう、**バレンタイン!!**
表紙を飾ってくれたステキな調理科美少女3名の本気のチョコ作りに密着しました! 彼女たちは一体どんなチョコを作るのでしょうか!?



私を一番近くで支えてくれた家族への感謝の気持ちを込めたチョコ



しおつき あかり
塩月 明莉

大好きな♡お父さんに
お父さんが喜んでくれるように、お父さんが大好きな生クリームをたっぷり使って作りました。私のお父さんは優しく、笑顔がとっても可愛いです。それから……(以下暫く彼女のほとぼりをお父さん愛が続くため、一部割愛)
私は卒業後、ショコラティエになるための専門学校へ進学するので、今回の企画は将来の為の良い経験になりました!

POINT
長方形、正方形、球体と、様々な形状を取り入れ、ホワイトチョコレートでマープル模様を作り、オシャレな見た目仕上げました。

三年間、調理科で苦楽を共にしたクラスメイトへの感謝の気持ちを込めたチョコ



ひらしま のの
平嶋 希望

No 抹茶♡No Life
大好きなクラスメイト達……でも私、実は三年間、皆に対して密かな不満を抱いていました。それは「抹茶好きが少ない」ということ……。私は抹茶が大好きなのに、あまり共感が得られず、今までとても悔しい思いをしてきました(笑)。
そこで、今回の作品ではみんなへの感謝は勿論、布教の意味も込めて私の大好きな抹茶を全面に押し出しました。ホントはもう少し飾り付けにも抹茶感を演出したかったのですが、さすがに最後の最後で引かれるのは嫌なので程々にしました(笑)皆、今まで本当にありがとう!

POINT
※塩月さんの供述によると、平嶋さんは抹茶嫌いを公言している塩月さんに朝晩問わず抹茶関連の画像をLINEで送り付けているらしい。

とある「野球部員」への応援の気持ちと「愛」を込めたチョコ



おばま
小瀨 ユキナ

ひとえに♡「愛」を込めて
多くは語りませんがハート型のお菓子もあるので、色々と察してください(笑)。今回のチョコレークのテーマはひとえに「愛」です。マカロンで作る上ですごく作業工程が多くて、実はすごく大変なんですけど、そこも「愛」の力で乗り越えました。
ボンボンショコラは私史上でも渾身の出来なので、是非多くの人に食べて貰いたいです。てか、食べた人は連絡ください(笑)

POINT
ハートや野球ボールをモチーフに色鮮やかに仕上げたので見た目も楽しいチョコレートになりました。きっと、私の気持ちも伝わってくれると思います(照)



今だから話せる卒業生バナシ

延岡学園で青春を過ごした
今年の卒業生たちが、3年間の
高校生活をぶっちゃける企画です！

ぶっちゃけトーク

延学

今回ぶっちゃけトークをしてくれるメンバーはコチラ！

 高崎 優翔 野球部で、お笑いコンビを組んでいる。好きなタイプは「浜辺美波」。	 花岡 晴琉 柔道部で日本一になった男。好きなタイプは石原さとみ。そんなの国民全員好き。	 入木 雅 部活動はバレエ部に所属。好きな異性のタイプは「笑顔が可愛い人」。
 橋口 佳怜 バレエ部のキャプテン。面白くて優しくかっこいい人が好き。欲張りか！	 伊藤 舜 同じく野球部お笑いコンビの相棒。笑顔がステキな人が好き。ボケろ。	

今回は卒業直前スペシャル企画！「全部ぶっちゃけましょう！」をテーマに、3年生に思い出を語ってもらいました！

コロナの影響を受けて
早速だけど、3年間楽しかった？

全員 ……(間があった) 「はい！」

花岡 「色々な間は？」

高崎 「色々ありましたしね。コロナで修学旅行もなかったですし」

伊藤 「僕は野球部なんですけど、コロナのせいで、走り続けましたね。休校期間でも部活は休みにならないから、地獄の練習期間だった(笑)」

花岡 「柔道部もです。陸上部か！ってくらいずっと走ってました」

伊藤 「朝の4時半にドンキまで走らされたりとか(笑)。片道10キロ！しかも真っ暗！」

高崎 「どの部活も陸上部になるっていう、コロナあるある！」

花岡 「色々ありましたが、個性豊かなみんなの特技と会話が出る、珍しい人がいるって聞いたんだけど、入木さん！」

入木 「え!? まあ、出来ませうけど。って、やるんですか!?」

伊藤 「はい、お願いします！」

全員 「(大爆笑)」

入木 「私鹿の鳴き声聞いたことないからわからないけど、これは似てるのか?(笑)」

今のは鹿語でなんて言ったの?

入木 「最近、鹿たちの声が聞こえないので、どうしたのか聞いてみました」

「なるほど! ということで鹿と会話する入木さんの特技(?)は、想像以上にワイルドでした。入木さんありがとうございます！」



「他の皆さんは、特技ある? 鹿にはかなわないと思うけど(笑)」

伊藤 「そうですね、やっぱり鹿にはかないませんが、高崎さんとコンビを組んでお笑いやってます！」

高崎 「野球部のクリスマス会で毎年、全員が漫才を披露するんですよ。なので入部してすぐコンビを組みましたね」

伊藤 「もともと漫才をして、高校入ってから誰かと組もうと思ってたので、入寮して同部屋だった高崎くんに声をかけました！」

「ここはNSCか何かなの? (笑)」

伊藤 「「吉村3の3」というYouTubeチャンネルもあるので、是非見てください！」



YouTube 「吉村3の3」チャンネル

「そしてここに、柔道で日本一強い男もいるんだよね。日本一の景色はどう?」

花岡 「どうですかね、変わらないですね!」

「謙虚すぎ!」

花岡 「コロナで練習があまり出来なかったし、勝ちにこだわり過ぎないように試合に臨んでたら……気づけば日本一で、メダル首にかけて賞状もらってました(笑)」

伊藤 「うわぁ〜カッチョえ〜!!」

「自然体でいられたことが良かったのかもじゃないね。日本一の男……さぞかしモテたことでしょう!」

花岡 「いや、全然でした。さっき見える景色変わらないって言ったじゃないですか(笑)」

橋口 「いや、アホですよコイツは!」

入木 「この人バレエ部のキャプテンだったんですけど、顧問の甲斐先生に反抗してましたよ」

橋口 「何でそれ言うの?」

「喧嘩しないで(笑)今回は「ぶっちゃけ」がテーマだから、言っちゃえ!」

橋口 「だって甲斐先生、バレエのことになると厳しっちゃもん、ついね。反抗するよね」



「反抗って、どんな風に?」

入木 「「じゃあもういいです!」みたいなこと言って練習中止になったことあるよね」

橋口 「あった! もうマジであることは絶対忘れられんもん!」

「何があったの?(ワクワク)」

橋口 「なんか! ……え、あれ? なんであんなになったんやっけ?」

全員 「忘れとるやん!(爆笑)」

花岡 「この感じでいつもアホです(笑)」

橋口 「なんかイライラしてたんですよ。でもそのせいでその日の練習がなくなっちゃったんです。あの時はかりはもう、めっちゃくちや反省しましたよ」

「今となっては笑い話になったのかな。柔道部はないの? そういう……反抗みたいな?」

花岡 「ないです! 無理でしょ! 反抗なんてできるわけじゃないんですけどかあんな(以下略)」

卒業後の進路は?

伊藤 「宮崎県内の大学に進学します」

高崎 「僕は大阪へ。伊藤くんとは離れちゃうんで、大学時代はそれぞれ別の相手を見つけて修行して、大学卒業後にまた一緒にコンビ組もうって約束してます」

「やっぱりお笑いの道を志すんだ」

伊藤 「そうですね、はい」



「入木さんは、鹿に何かメッセージある?」

入木 「鹿には、特にないです(笑)。1日1日を大切に過してほしいですね」

橋口 「私は、とにかく「青春」してほしいです。高校でしか出来ない思い出を作ってください!」

伊藤 「いやいや! 絶対俺の真似したやろ!(笑)」

高崎 「お前がボケんからやろ!」

後輩にメッセージをお願いします!

伊藤 「色々な人と関わった方がいいと思います。そうした出会いの中から、成功へと繋がるんじゃないかなと思います」

高崎 「……いや、ものすごく奇遇なんですけど、自分も全く同じことと思ってました(真顔)」

伊藤 「いやいや! 絶対俺の真似したやろ!(笑)」

橋口 「私は、とにかく「青春」してほしいです。高校でしか出来ない思い出を作ってください!」

入木 「鹿には、特にないです(笑)。1日1日を大切に過してほしいですね」



「ここはボケなくていいのに(笑)」

みんな、とても良い思い出ばかり! 延学で得た経験が、卒業後の糧になることを祈っています。卒業おめでとう!

花岡 「やりたいようにやるのがいいと思います! ただ一つ言えることは、恋愛をした方がいい!」

「花岡くんは、いい恋愛出来た?」

花岡 「できなかったんですよ! 多分大学に行っても、出来ないっす。でも、世界に出たら外国人と付き合ってるかも!」

最後に3年間の感想をどうぞ!

入木 「友達や先生のおかげで、辛いことも乗り越えられました! 校内だけじゃなくて、県外の人や留学生とも繋がれてよかったです!」

花岡 「自分は中学の頃から強かったのですが、色々な高校から誘われてたんです。延岡学園はみんなが明るかったのを選びました。今も全く後悔はありません!」

高崎 「結構苦しいこともあって。でも今となってはいい思い出です! いい友達とも出会えたので、延岡学園に来てよかったなと思います、ありがと〜ございました!」

橋口 「延学はとて賑やかだし、行事とかは真剣に取り組んだりして、とにかくすごく充実しました!」

伊藤 「……在学中が一番印象的だったことは、延岡駅で電車を待っていたら、70歳くらいのおばあちゃんに「喫煙所どこ?」って聞かれたことですかね。まず高校生の自分に聞いてくるのもおかしいし、そもそもおばあちゃん、タバコ吸うんだ! って(笑)」